



宝永小だより

No. 27 卒業生特集
福井市宝永小学校
令和8年3月9日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

ご卒業おめでとう

希望を胸に巣立つ 24名



明日、3月10日(火)に卒業証書授与式が行われ、24名が6年間の小学校の課程を終えて、宝永小学校を巣立ちます。今年度は、第133回の卒業証書授与式です。卒業証書番号の第17870号から第17893号の卒業生となります。伝統ある宝永小学校の卒業生であることの自覚と誇りをもって、一人一人が勉強や運動に精一杯努力し、充実した中学校生活を送ることができるよう祈っています。

6年生「卒業作品展」開催 2月20日(金)～24日(木)

6年生を送る会」の日から、多目的室に

おいて、「卒業作品展」が開催されました。6年生の子どもたちが、これまでの図画工作や書写の授業で製作したすばらしい作品が展示されました。

ランドセルの絵

「ありがとう ランドセル」と題して、6年間、使い続けた自分のランドセルを描きました。ランドセルへの感謝のコメントも添えられていました。様々な思い出がよみがえってきます。



未来の私

粘土を使って、自分の「未来の姿」を創作しました。いろいろな材料を使って動きを工夫しました。子どもたちの将来の夢は、プロ野球選手・パティシエ・先生・漁師・書道家など…。子どもたちには、夢に向かって、がんばってほしいです。



タブレットラック

ボードに絵を描き、木彫りをした後に、色を付けて組み立てました。個性豊かなラックができました。



習字

中学校で頑張りたいことなどを漢字一字で表現しました。色紙に見事に書き上げました。



6年生から下級生にバトンタッチ 2月24日(火)

6年生の卒業を前に、町内子ども会を開催しました。まず、安全に集団登校ができるように、人数や学年配分などを考えて、新年度の班を編成しました。そして、新班長を決め、集合場所とその付近の安全、集合時刻を確認しました。さらに、旧班長を中心に、新1年生を含めた新年度の名簿を作成しました。新班長は、新1年生へ集団登校の班長や集合時刻等を知らせるお便りを作りました。新1年生には、このお便りを4月8日(水)の入学式の日配付する予定です。

翌日から、5年生や4年生の新班長が先頭での集団登校が始まりました。6年生は、最後尾から指導することになりました。新班長は、緊張気味ながらも、張り切っています。どの班も、約束の7時40分～7時50分の間に学校に入ることができていました。清掃の班長も、5年生や3・4年生にバトンタッチです。掃除の反省会は、掃除場所ごとに、新班長が進めています。

卒業証書授与式の翌日からは、集団登校も清掃も、6年生がいない状態で進んでいきます。新班長の見習い期間を終えて、いよいよ新体制での生活が始まるのです。6年生のお手本を見ながら学校生活を送ってきている子どもたちは、これまでに、ちゃんと班長としての姿を学んできています。これまで下級生を引っ張ってきてくれた6年生の子どもたちに感謝しています。



<新年度の班編成を確認する子どもたち>

6年生 道徳の授業を公開する 2月25日(水)

先生方が全員、6年生の道徳の授業を参観して、放課後に研究協議会を開催し、学び合いました。6年生の子どもたちにとっては、卒業を目前に控えた中、6年間の集大成となる学びの公開となりました。道徳の内容項目は「相互理解・寛容」で、今回の授業では「謙虚な心で相手の立場を考え、広い心で相手を尊重しようとする心情を育てる」ことをねらいとしていました。授業で使用した資料は「銀の燭台」で、主人公が過ちを犯し、その過ちに対して、司教が怒り罰しようとするのではなく、許すという行動を取り、さらに銀の燭台までも差し出すという話でした。子どもたちは銀の燭台をあげたことについて、「そこまでする必要はあったのか、なかったのか」に対して自分の考えをもって、グループで自分の考えを伝え合ったり、学級全体で話し合ったりするを通して、「相手を許すとはどういうことだろうか」という問いに自問



<自分の考えを伝え合う子どもたち>

自答を繰り返しました。授業の終わりには、「どんな人でも同じように接すること」や「その人がしてしまった過ちを受け止めること」など、自分の考えを発表できる子どもの姿がありました。一方で、言葉にすることが難しい子どもの姿もあり、深くじっくりと考える時間になったのではないのでしょうか。きっと、子どもたちの今後の人生で、改めて考えるときがくるのではないかと思います。そのときには、この授業を思い出してほしいと願っています

<6年児童の振り返り>これまでの自分をふり返って、私は、本当に相手を許せているのか疑問に思いました。私はいつも、相手がミスしたり傷付けてきたりした時、「許してあげる」ではなく、「もうどうでもいい」で片付けていました。この授業を通して、「許す」とは相手の罪を認める事だと気付きました。これと同時に、相手を許す事ができていないのだな、と実感しました。今日のこの気づきを活かせるよう、相手を許す方法を追求していきたいです。

えがお学級 ようこそパンプキンレストランへ 2月27日(金)

えがお学級の子どもたちが、パンプキンレストランを多目的室に開店し、お世話になったお礼と卒業を祝して、6年生全員と担任の先生をお招きしました。かぼちゃコロッケまたはかぼちゃクッキーと、紅茶またはほうじ茶または玄米茶から、6年生の子どもたちがそれぞれ一つずつ選択して、セットいただきました。



<いらっしゃいませ、6年生の皆さん>
昨年度、県外派遣で本校に勤

6年生 埼玉県の小学校とオンライン交流 3月3日(火)

務されておられた〇〇〇〇 教諭とのご縁で、埼玉県毛呂山町立川角小学校の6年生の皆さんと、本校の6年生がオンラインで交流しました。まずは、川角小学校の6年生の皆さんから、埼玉県の魅力と、本年度から始めた地域と連携した体験学習について、紹介を受けました。その後、本校の子どもたちは福井市の魅力を伝えるために、柴田勝家、羽二重餅、養浩館庭園の3つについて、説明やクイズを交えて紹介しました。また、互いに質疑応答を通して、それぞれの県や住んでいる地域について理解を深めることができました。オンラインで、直接、会話をすることで、子どもたちは、より親しみを感じたようです。子どもたちにとって、他県のことを知り、自分たちのふるさどを見つめ直す、良い機会になりました。



<オンラインで質疑応答する子どもたち>

*この「宝永小だより」第27号は、6年生の皆さんにとっては最終号となりました。皆さんは本校を巣立ち、中学生となりますが、私たち教職員は、皆さんをいつまでも見守り、応援し続けます。保護者の皆様、これまで本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。